

新聞記事から絵本まで ～「書く」ためのヒントを少しばかり～

講師：大原 悦子氏
津田塾大学ライティングセンター特任教授

新聞記者、フリーランスのライター、ライティングセンター教員……
大学を卒業してから、わたしはずっと「書く」ことにかかわる仕事をしてきました。昨年は初めて絵本も出版し、新たな発見や驚きがありました。さまざまな文章と格闘してきた経験から、少しでもみなさんの参考になるようなお話ができればいいな、と思っています。

日 時： 2014年11月5日 [水] 16:20-17:50

会 場： 関西大学千里山キャンパス
第1学舎1号館6階 ライティングラボ2

※津田塾大学で開催される講演会をTV中継いたします。

※事前申込不要・参加費無料

大原悦子氏 プロフィール：

1982年、津田塾大学国際関係学科卒業、朝日新聞社入社。奈良支局、大阪本社、東京本社で記者として働く。在職中にハーバード大学ケネディ行政大学院修士課程修了。99年フリーランスに。2008年より現職。

著書に『ローマの平日イタリアの休日』（コモンズ）、『フードバンクという挑戦—貧困と飽食のあいだで—』（岩波書店）、訳書に『ソウル・トゥ・ソウル』（朝日新聞社）など。絵本『カタッポ』（福音館書店「こどものとも」2014年1月号）は、福音館の創立60周年記念「絵本にしたいお話」原稿募集で採用された作品。



[お問い合わせ]
関西大学教育開発支援センター事務局
TEL:06-6368-1111 (内線3223、3812)
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/renkei.jp>

[主催]
津田塾大学ライティングセンター

[共催]
関西大学ライティングラボ